

1 自己評価の集計結果

基本目標	A 計画通りの成果 78/104件(75%)	B 一部成果を得られないものもあつた 22/104件(21%)	C 計画どおりに事業遂行できなかった 3/104件(3%)	D 事業に着手できなかった 1/104件(1%)
1 幼児期の教育・保育の充実と地域における子育て支援 (29件)	23件 1-6 ファミリー・サポート・センター事業 1-26 保育士等人材確保事業 1-29 児童館等地域見守り事業 ほか	5件 1-8 地域子育て支援センター事業 1-9 子育て親子ひろば 1-12 民生委員・児童委員活動 1-14 地域活動の育成 1-28 保育士等人材バンク	1件 1-16 保育所地域活動事業	0件
2 子どもと保護者の健康の確保・増進 (19件)	17件 2-1 障がい児保育事業 2-19 不妊・不育症治療費助成事業 ほか	2件 2-2 保健推進員活動 2-4 母親学級及びベア学級事業	0件	0件
3 子どもの教育とあそび環境の充実 (30件)	17件 3-4 子どもの心の相談医 3-23 あそびの広場運営事業 ほか	10件 3-2 性に関する指導の実施 3-3 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育 3-7 学力向上対策事業 3-9 教育支援センター事業 3-12 スポーツ少年団指導者講習会のPR・勸奨 3-16 いわみざわ花と緑の少年団事業 3-20 幼児ことばの教室 3-22 いわみざわチャレンジスクール 3-24 青少年育成 3-30 家庭教育事業	2件 3-5 親になるための交流事業 3-8 総合的な学習の時間帯における外部人材の活用	0件
4 安心して子どもを産み育てることができる環境の整備 (13件)	10件 4-1 街頭補導活動事業 4-11 児童見守りシステム推進事業 ほか	3件 4-5 ワーク・ライフ・バランスの推進 4-6 交通安全教室 4-7 民間における交通安全の確保	0件	0件
5 児童虐待の防止 (4件)	3件 5-1 チャイルドホットライン 5-2 児童虐待早期発見事業 5-3 特別育児支援ヘルパー事業	0件	0件	1件 5-4 児童虐待防止の学習会によるネットワークづくり
6 子どもの貧困対策とひとり親家庭の自立支援 (9件)	7件 6-2 生活困窮者自立支援 ほか	2件 6-3 生活困窮者学習支援 6-5 S・Eスタディに対する支援	0件	0件

2 第2期プラン初年度の成果と課題

- ・一部成果が得られない事業、着手できない事業が全体の26件（25%）。
- ・コロナ禍であっても、多くの事業では、実施時期の変更、リモートの組み込みなど工夫を凝らして実施することで、ほぼ計画どおりの成果を得ている。中には、子どもとの接触が制約された時間を研修機会に活用する事業も見られた。
- ・他方、計画通りの成果が得られない多くの事業は、実施回数や利用者数の減少であり、その原因としてコロナ禍にともなう利用者の物理的、心理的な行動抑制によるものとしている。
- ・物理的な制約として、子育て施設や高齢者施設の訪問、学校での外部人材活用、心理的な制約として、子育て支援センターや教育支援センターでの相談利用などに影響が見られた。
- ・そのほか、コロナ禍に関わらず、事業自体のPR不足や提供側が十分な態勢を整えない事業もあった。